

2011年

安全報告書



島原鉄道株式会社

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

いつも島原鉄道をご利用頂きありがとうございます。

又、平素より、鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

当社は、常にお客様への安全確保を第一の使命に掲げ、地域の皆様に安全で快適な輸送を提供する為、法令遵守のもとに安全輸送及びサービスの向上に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について公表するものです。

今後とも、安全で安心できる鉄道を目指してまいりますので、ご利用のお客様並びに沿線の皆様のご理解を頂くと共に、皆様からのご意見を頂ければ幸いです。

島原鉄道株式会社
代表取締役社長 本田 哲士

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全輸送の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知し安全輸送に努めています。

一致協力して輸送の安全確保に努める。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。

常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。

事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標(2009～2013)

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故(衝突・脱線・火災)	責任事故を発生させない。
	列車内の死亡事故	列車内の死亡事故を発生させない。
	踏切保安設備の故障に伴う事故	故障に伴う事故を発生させない。

(3) 安全目標に対する実績

年 度	2 0 0 8	2 0 0 9	2 0 1 0
列車事故(衝突・脱線・火災)	0	1	0
列車内の死亡事故	0	0	0
踏切保安設備の故障に伴う事故	0	0	0

2009年の列車事故は、踏切事故に伴って列車火災事故が発生したものです。

3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故の発生状況

2010年度は、3件の鉄道運転事故(踏切障害)が発生しました。

年 度	2 0 0 8	2 0 0 9	2 0 1 0
事故件数	6	5	3
死傷者	6	3	0
うち死亡者	1	0	0

(2) 災害(地震・暴風雨などによる鉄道施設への被害)の発生状況

2010年度は、自然災害による鉄道施設への被害は発生しておりません。

(3) 輸送障害(30分以上の列車遅延や運休)の発生状況

2010年度、30分以上の列車の遅延や運休が発生した件数は以下のとおりです。
利用者の皆様へは大変ご迷惑をおかけいたしました。

項 目	件 数	特記すべき輸送障害
自然災害等	1	降雪によるもの
設備故障など	3	線路設備の障害、島原外港駅建物火災によるもの
車両故障	1	
第三者障害など	3	踏切事故等によるもの

(4) インシデント(事故の兆候)

2010年度、九州運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

4. 安全確保への取組み

(1) ハード面での取組み

安全重点施策

当社では、2007年度より国、県、沿線自治体からの支援を頂き保全整備事業を実施し施設の改善や踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備を図り安全輸送の向上を図っています。

項 目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
落石等防止設備等		1箇所		1箇所
橋梁の改修	2箇所	3箇所	2箇所	5箇所
分岐器の重軌条化	3箇所	5箇所	5箇所	5箇所
踏切保安設備の整備	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所

安全のための支出

安全輸送の確保のため、2010年度においては鉄道施設・車両の修繕費53百万円、安全対策等の設備改良90百万円を行いました。

踏切保安設備の整備状況



吾妻～古部駅間 第78号踏切



大三東駅構内 第146号踏切

視認性向上のため、全方向形警報灯を使用しています。

(2)ソフト面での取り組み

平成19年度より社内に「コンプライアンス・リスク管理委員会」、「安全推進委員会」を設置し、安全管理体制の構築を図っています。

・コンプライアンス・リスク管理委員会

社内及び社外委員で構成された「コンプライアンス・リスク管理委員会」では、四半期毎に安全推進委員会での会議報告を基に開催状況及び輸送の安全に対する適切な報告等を確認することにより法令遵守に努めています。

・安全推進委員会

輸送の安全確保を最優先とするため、現業部門から報告される運転事故及び輸送障害報告等により、四半期毎に委員会を開催し、問題点や改善策について審議し安全確保の改善を図っています。

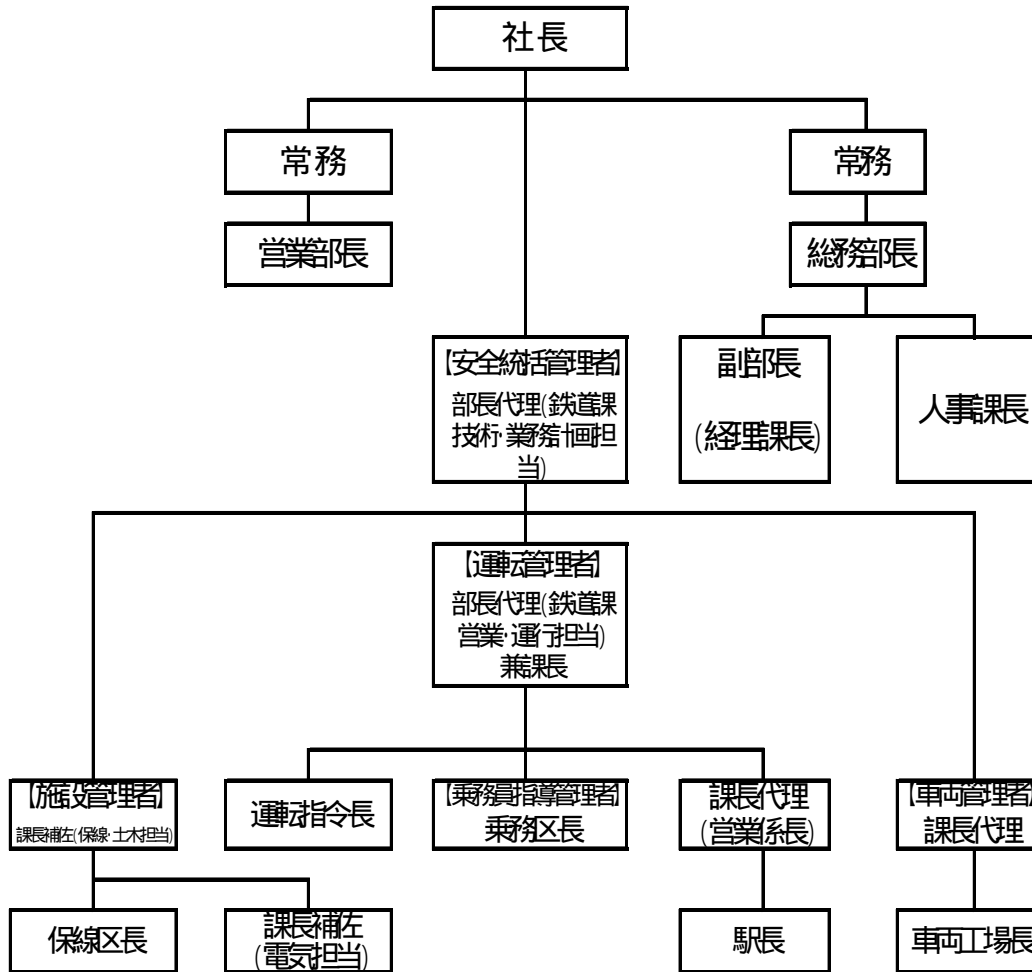
教育・訓練計画に基づき、従事員への教育・訓練を実施し、安全意識の高揚を図りました。

社長をはじめ、会社幹部による職場巡視を行い現業部門との対話を行いながら管理状況等の確認を行いました。

5.安全管理体制

(1)安全管理組織

当社では、平成18年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築して運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他管理者等が、それぞれの責務を明確にした上で、安全確保の為の役割を担っています。



(平成22年4月1日現在)

(2)各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
【安全統括管理者】 部長代理	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
【運転管理者】 部長代理	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
【乗務員指導管理者】 乗務区長	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
【施設管理者】 課長補佐(保線・土木担当)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

【車両管理者】 鉄道課長代理	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、予算、人事に関する事項を統括する。

6. 利用者・住民の皆様との連帯

(1) ご意見箱の設置

当社では、利用者の皆様の声をお聞きする為に有人駅(本諫早・多比良町・島原・南島原)に、ご意見箱を設置し、安全輸送及びサービスの向上に反映させています。

(2) こども110番の駅

当社の職員駅では、「こども110番の駅」として地域の子供達を守る為の取組を行っています。

[主旨]

- ・ 「こども110番の駅」では、不審者(犯人)から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみではなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しい駅作りを目指します。
- ・ 「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めに来た場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。
- ・ 実施駅 …… 本諫早駅・島原駅・南島原駅

(3) 踏切事故防止のお願い

近年、踏切事故が多発しております。踏切事故のほとんどが、一旦停止不履行及び無理な直前横断によるものです。踏切に入る前には必ず一旦停止し安全確認を行って通行して下さい。

又、2008年以降の3ヵ年で14件の運転事故の内、高齢者による事故が7件発生しておりますのでご家族の方も十分なお配慮をお願い致します。

列車の安全な輸送にご協力いただくとともに、鉄道施設内での異常等を発見された場合は直ちに運転指令所(TEL0957-62-6623)までご連絡くださいますようお願い致します。

7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全の取組に対するご意見をお寄せ下さい。

島原鉄道営業部 鉄道課
TEL. 0957-62-2232 FAX. 0957-63-5712
E-mail info@shimatetsu.co.jp
月～金 9:00～17:00(祝休日を除く)